

2023年2月21日（火）

マンション・バリューアップ・アワード2022

マンションライフ・シニアライフ部門 プレゼンテーション資料

ご近所見守り隊の設立

～ 世代間の垣根を超えたマンション内コミュニティ ～



長谷工 コミュニティ

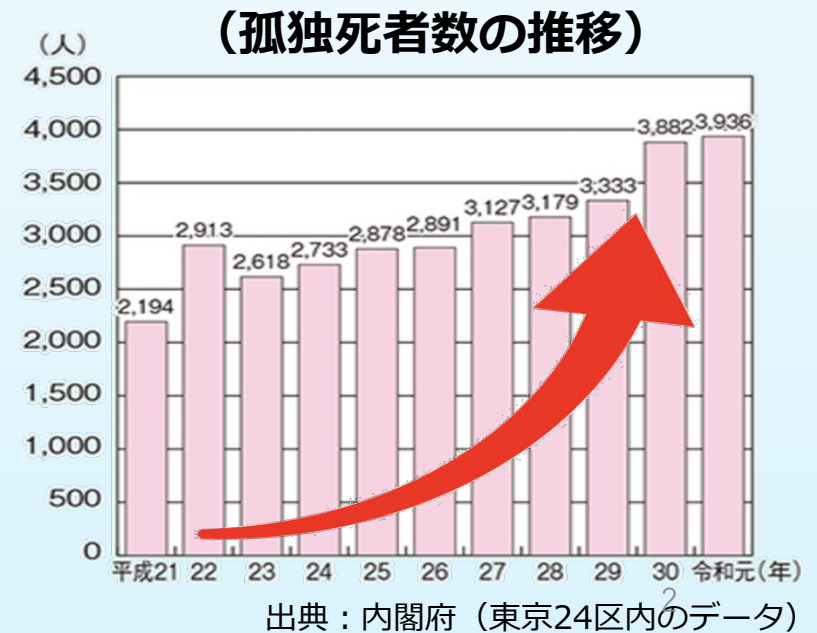
加藤 敬一

1. 背景

現在、我が国は言わずもがな超高齢化社会と言われ、特に昨今では『**独居高齢者**』の割合も非常に増加しており、下記のような問題が全国的に散見されている。これらの対策は急務であるということは誰もが認識する課題であるものの、昨今の労働力不足やプライバシーの課題が壁となり対応は困難を極め、今回ご紹介するマンションも**30数世帯という規模ながら、例外なく同様の悩みを抱えておりました。**

«高齢者が直面する問題の一例»

- ◆ 独居高齢者の**孤独死**が増えている。
- ◆ 頻発する大規模災害時の**安否確認・避難**が難しい。
- ◆ 地域コミュニティの希薄により**社会的に孤立**する。
⇒結果、**認知症進行**や**生活意欲低下**に繋がるとも…
- ◆ **悪質な消費者トラブル**に巻き込まれる。



2. 目的と課題

理事会では、なんらかの形で高齢者を守るための活動ができないかという議論を私たち管理会社を交えて重ね、**課題の多さに直面**しながら思案した結果、管理会社を始めとする、**業者任せにならない体制を整えることを目的**に検討を進めました。

《直面した課題》

- ◆ **管理会社等**が高齢者を十分に見守ることは困難。
- ◆ **管理組合役員**が高齢者を十分に見守ることも困難。
⇒ **特定の方に負担を強いる**ことに繋がり、個々によって対応可能な範囲も異なる。
⇒ 輪番制では**活動の継続性を保つことが難しい**。
- ◆ 個人情報の取り扱いが厳格に定められる昨今は、**安易に高齢者の居住情報を収集することが困難**。



そんな中、想定外の申し出が
本件を急展開させることに…

以上

3. バリューアップのための実施内容（2）

学校の授業で社会福祉を学んだというマンションに住む高校生から、『**自分にも何かできることがあれば協力したい。**』という申し出が理事会に対し寄せられました。無意識のうちにマンション内の【大人】に向けて意見を募っていた私たちにとって、これは想定外の出来事であり、戸惑いが隠せなかったのが正直なところです。

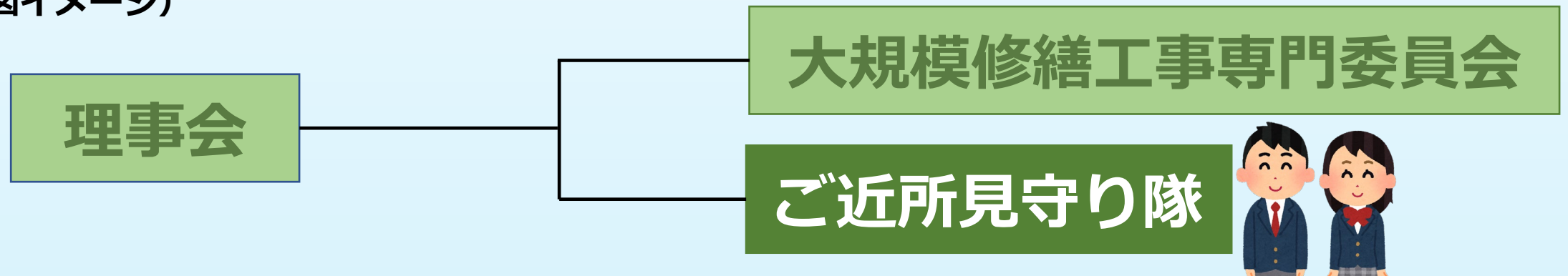


3. バリ्यूアップのための実施内容（3）

早速、申し出てくれた高校生へ会議への出席をお願いし、現在の課題を共有しながら、何ができるかを長時間に渡って話し合った結果、**希望するお年寄りの自宅を定期的に訪問して様子を伺う活動であれば、学生たちの時間的拘束も少なく、且つ、不安を感じられているお年寄りの安心に繋がるのではないかと結論に至りました。**

理事会では、この活動を『**ご近所見守り隊**』と命名、早速、高校生たちの保護者の承諾を取りつけたうえで理事会の下部組織として正式に設立することを決定し、活動内容の詳細について作り上げる方針を固めました。

（組織図イメージ）



3. バリ्यूアップのための実施内容（4）

≪ご近所見守り隊の主な活動内容≫

（1）定期訪問

毎週水曜日の夕方、学校から帰宅するタイミングで希望するお年寄りの自宅を訪問し、異変がないかを確認。気になる点があれば保護者を通じて各所へ報告する。

（2）要望のヒアリング

当マンションで生活するうえで不安に感じていることを聞き取りのうえ、保護者を通じて各所へ報告する。

（3）その他 困りごとの相談

重い荷物の移動や電球の交換等、自分ではできない日常生活でのちょっとした困りごとがあればお手伝いする。



4. 実施結果（1）

2022年4月の活動開始時は見守り隊2名、見守られるお年寄りが2名という小規模な活動に留まっておりましたが、小さな活動の輪が徐々に広がり、**現在は合計5名の中高生が6名のお年寄りを見守るまでに組織が成長しております。**

また、見守られるお年寄りからは下記のような声が届いております。



昔は、廊下を走り回っている子どもたちを叱る立場だったのに、成長した彼らにまさか自分がお世話になる日がくるとは…

まるで孫が定期的に遊びにきてくれるような感覚で、見守り隊とお話することが人生の楽しみになっています♪



4. 実施結果（2）

前述のとおり、見守られるお年寄りからは非常に好評を得ているこの活動ですが、見守り隊に所属する学生たち、そして、組織の枠を飛び越え管理組合全体にも大きな影響を及ぼしており、**これは私たち業者の力では絶対に成し得ないことでしょう。**



（見守り隊）自宅には自分の部屋がないけど、定期巡回ついでに空き部屋を勉強スペースとしていつも使わせてもらっています♪

（保護者）子どもたちの影響で、私たちも管理組合活動に対する意識や義務感が高まり、積極的に協力するようになりました！



（理事長）これだけ発想力と行動力のある子どもたちがいることは私たちにとっての財産であり、管理組合の未来も明るいでしょう。

5. 苦勞した点・工夫した点

«苦勞した点»

フロント担当である私は、組織設立に伴う手続きや活動に関するリスクについて最低限の助言をしたのみで大きな苦勞なく話が進んだと感じており、中心となって検討を進められた理事長を始めとする役員の皆様も、全員が口々に『**ひとえに子どもたちの行動力と、年長者を慕う気持ち**が私たちを導いてくれた。』と仰っております。

«工夫した点»

◆ 腕章の着用

高齢者を対象とした犯罪に関するニュースも多い中、見守り隊にはその一員である証として管理組合の**腕章を貸与し、活動中は必ず身に付けてもらっております。**

◆ 報告・連絡・相談の体制

子どもたちの善意の判断が思わぬトラブルに繋がることも考えられるため、常に**見守り隊・保護者・理事会という三位一体の強固な連携体制を敷いております。**

6. 反省点と今回の経験を通して

一点、個人的に反省すべきことがあるとすれば、私たちは老若男女すべての方々にとって住みやすいマンションをつくることが責務であるにもかかわらず、**無意識のうちに大人の顔色や声ばかりに気をとられるあまり、視野が狭くなってしまっていたことを今回の一件で子どもたちに気づかされたことです。**

また、今回の経験をきっかけに、高齢者を取り巻く環境について調べたところ、高齢者が社会的な孤立に陥る要因は、インターネットや宅配サービスの発達により家から出なくても生活が送れる便利な時代になったことなどの影響もあるようなので、今後めまぐるしい早さで社会構造が変化していく中、**高齢者が孤立してしまうケースが一層増えると予想しております。そのような時代が到来する中、辛い思いをされるお年寄りが一人でも少なくなるよう、この業界に身を置く者として、常に社会に対し問題提起してまいりたく考えております。**

以上